

「ランチかごしま」

支部：鹿児島市本名町1748

-19

TEL099 (294) 3863

1 第2回評議会、第57回総会・懇親会が開催されました。

〈支部からの出席者〉

支部長 柿木正敏 ・ 副支部長 川井田克 ・ 幹事 岩重礼 (3人)

評議会 平成29年11月4日(土) 13:30~15:30

評議会に先立って「ひびきのキャンパス除幕式・見学会」が行われました。

創立70周年記念支援事業として同キャンパスに校歌碑・時計台寄贈。

○支部助成制度を改定

「若者の会」(名称は支部で変更可)助成新設

対象:卒後3~17年(助成額一人2,000円)、卒後1~2年(助成額一人3,000円)

他支部からの参加者も同様に助成

事務費(往復はがきや封書)は実費を助成(事業(集会活動)終了後、報告書提出)

※「女性の会」助成制度もあり。支部活動活性化に活用してほしいとのこと

支部としては、女性の会、若者の会の発足を期待しています。

事務的なことは相談に乗りますので、3~4名からのスタート、お待ちしております。

総会 11月5日(日) 10:00~11:00

同窓会会長 善 正善 氏(S47:経営学科卒)

学 長 松尾 太加志 氏

功労者表彰に引き続き、上半期の事業・予算執行状況等について報告がなされた。

2 総会終了後、**特別講演**(11:15~12:15)がありました。

演題「今いる学舎で輝くために~掲げし理想胸に抱き、未来を切り開く~」

講師 日本環境設計(株)会長 岩元美智彦氏

(S63:経済学部卒 鹿児島県出身)

身)

【驚きの講演内容】(sugoihito.or.jp/2016/03/-キャッシュ)から抜粋

「1年間に家庭から排出されるごみ(4500万トン)をすべてエタノール化し、その原料

から約1000万トンのプラスチックが生産可能。これは日本のプラスチック年間使用量

と同じです。企業から排出されるごみに至っては、この10倍もあるんです。地上資源

だけで必要な燃料や資源を全て賄うことが出来れば、石油は一滴もいらなくなりま

す。循環型リサイクルで回せる世の中が出来れば、地下資源の争奪が原因となっ

起る紛争をなくすことが出来ると、私は考えています。

そして、地上資源が循環する社会を作るためには、仕組みと技術も大事ですが

『消費者参加型』であることが必要不可欠です。ただ『リサイクルをしましょう』と言っ

ても、消費者の皆様の心にはなかなか響かないのです。皆様から回収したいわば資

源で別の製品を作る、夢のあるワクワクすることを考えて、消費者の皆様にも楽しく参

加していただくことで循環型社会は出来上がっていくのです。

2015年10月に映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー パート2』に登場したクルマ型の

タイムマシン『デロリアン』を再現した時には、みんな本当に楽しそうに参加してくれま

した。リサイクルインフラの整備に向けては着実に整い、おかげさまで今では世界から

も注目されるようになりました。ぜひ、この活動にご参加下さい。」

※社名：日本環境設計株式会社 設立：2007年1月

事業内容：□リサイクルインフラの構築・運営 □BRINGプロジェクトの企画・運営

□大手携帯電話キャリアの携帯電話リサイクルの管理・運営

本社所在地：東京都霞が関三丁目2-5 霞が関ビルディング

工場所在地：福岡県北九州市／愛媛県今治市

資本金（資本準備資金含む）：14億9,200万円

BRINGは、役目を終えた衣料品を地球の資源にリサイクルしています。

ポリエステル

はもう一度服にリサイクルし、まだ使える物は寄付やリユースします。使わなくなった服

は“BRING”して、新しい服に生まれ変わらせよう。BRING SP

OT=ハチのポスター

が目印（国内外80ブランドの店舗が回収場所として参加）。

今回の忘年会開催について（案内状を150人に送付） 返信84人宛先不明1人

○女性割・若者割の導入（支部組織強化のため） ○支部会計からの補助